

FA協会 認知度向上委員会 # 1

【タイムテーブル】(6/29 15:00-16:00)

15:00-自己紹介

15:10-委員会について(尾口理事)

15:25-個人向けアンケートについて・出現率調査結果報告(水野顧問)

15:35-16:00議論・意見

【出現率調査結果報告】

<IFAについて>

IFAのアドバイス受けている 0.7% (8名/1,103名)

IFAを今後利用したい4%

IFAを知らない87%

【議論・意見】

田中氏 (財コン) >

・そもそもIFA業界の認知度を向上していく必要があるのか議論が必要である。

⇒事前アンケートから、IFAは評価されていないのは明らか。その中で認知をアピールしても、評価されていない団体として認知されていくだけ。

・今まで、IFA業界や各社は利益のことしか考えていなかった。

⇒本質はお客様の利益を考え、発展して行くべきではないか。

・どうしたら日本人全員に明るい未来を提供できるのか議論して協会の活動として行っていくべき。

⇒そうするとIFAの認知は自然と広がっていくのではないか。

五十嵐氏 (バリューアドバイザーズ) >

・まずはFA協会の目的を全員で共有するべき

- ・当委員会がFA協会と連携して、どうやって投資を広めていくか検討すべき。

水野顧問 >

- ・金融庁時代に「顧客意識調査」を8,000人規模で行った。(マクロミルを使って、約50問、ネット調査と郵送調査を実施)

⇒顧客意識が良く分かり、その後の施策検討に有効活用。

- ・回転売買が絶対的な悪ではない。お客様のニーズに沿ったサービス・商品を提供する良質なIFAが求められる。

⇒「顧客本位の業務運営」の在り方について、もっと議論していくべき。

永井氏 (GAIA) >

- ・個人向けアンケートは現時点でのIFAの認知が低いことを明らかにするためにもやるべき。

- ・なかなか認知度が向上しない。認知が向上しない理由はIFAのわかりにくさが原因ではないか。

⇒「IFAとはこういう存在である」と示せたらよい。

石川氏 (FS) >

- ・お客様自身が興味を持たないと認知は広がらない。相場が悪くなり、お客様が問題意識を抱えたときにIFAへのニーズが出てくる。

⇒そのために徹底した準備をしておくことが大事になってくる。

- ・第三者の目からみて分かるように、(水野顧問の言うところの)良質のIFAの定義をするべき

⇒IFAが良質になると認知が広まっていくはず。

【まとめ】

- ・今後委員会設置の意義・目的を固めていく必要がある。

・認知度向上委員会の目的・意義を明確化するために、どのトピックをどこまで掘り下げるか検討する必要あり。

・個人向けアンケートについては、目的等を確認したうえで、実施要否を検討。

・定例会だけではなく、必要に応じて随時開催していく。